



拜島中学校だより

令和8年3月6日
第12号
昭島市立拜島中学校

【それは一瞬で】

校長 乙幡 英剛

学年末テストへの取り組み、お疲れさまでした。特に3年生は、都立一般入試の直後の実施ということで、緊張感もひとしおだった人が多かったのではないのでしょうか。努力した成果が、表れているといいですね。

さて、そんな拜島中生とは裏腹に、世間では、ミラノ・コルティナオリンピックの話題で盛り上がっていました。その中で、皆さんに伝えたいことがあるので、話します。

今回のオリンピックで印象的だったのは、中井亜美選手（銅メダル）の躍進の他には、フィギュアスケートペアの「りくりゅう」こと三浦璃来選手、木原龍一選手組が金メダルを獲得したことです。日本のペア史上初のメダルの獲得、フリー世界歴代最高得点（158.13点）、ショートプログラム5位から6.9点差をひっくり返しての優勝は現行の採点システムになってから初、という所から快挙と言われています。

私が感動したのは、ショートプログラムでの演技の中で、息の合わない場面があったことに悔しさを隠し切れない木原選手に、三浦選手がかけた言葉です。

「まだ終わっていない。積み重ねてきたものがあるから絶対できる。
それは一瞬で崩れたりもしない。」

これは、練習やケガ等とともに乗り越えてきた三浦選手だからこそ言える、思いの込められた言葉でしょう。冷たく固い氷上を滑りながら、2メートルくらいまで高く持ち上げられたり、3メートル近くまで投げられたりするこの競技だからこそ、温かくしなやかな心と絶対的な信頼感が重要です。夜も眠れず、直前の公式練習でも涙が止まらなかった木原選手が、本来の力を発揮することができたのも、その根底に互いの信頼関係があったからこそでしょう。

もし、この時、二人のどちらかが、競技を完全にあきらめていたら。結果（現実）を受け入れられず、責任を他に転嫁していたら。一言でも相手を責めていたら。

この快挙はなかったかも知れません。

ひるがえってみると、皆さんにも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。皆さんは、この一年間（あるいは数年間）、クラスや部活動の人達と、様々なことを乗り越えてきました。私が知っているだけでも、体育大会や合唱コンのように大きな行事までにあったドラマが（場合によっては、トラブルさえ）、あったでしょう。それを乗り越えて来られたのは、相手を思う気持ちやまぎれもない信頼関係があったからではないのでしょうか。もしかしたら、この段階になって自分の思う通りにならないことの責任を転嫁したり、人を責めたりしている人はいませんか。今年度も残り数日です。だからこそ、もっと前向きになれるような、相手を安心させられるような関係が必要なのではないのでしょうか。皆さんが、来年からの生活につながるような、温かい思い出を作れることを期待しています。（「朝礼」3/2）



【卒業式のお天気は】

【学校の様子】



【学校運営協議会（2/12）】



【交流コンサート（2/14）】



【お弁当の日（2/20）】



【階段の掃除は大変だなあ】



【E-SATJ（3/2）】



【保護者会（3/3）】



【球技大会（3年）（3/4）】



【お昼の放送（3/4）】



【卒業式練習（3/5）】

【教材費の納入時期の変更について】

教材費は、ワークブックの他、クラス写真や通知表のファイル、体育祭のハチマキ等、必要な物を購入するために集めています。これまでは、教材費は、教材を配布した後に、入金をしていただきましたが、来年度からは、先に購入予定品の一覧と「同意書」を配布します。その上で、内容をご確認いただき、教材の購入に同意し、入金を確認できたご家庭に副教材を渡す、という流れにさせていただきます。年度当初に大変申し訳ございません。お手数ですが、ご協力をお願いいたします（同意書は、始業式に配布いたします）。

【4月の予定】

6日（月）始業式 7日（火）入学式
 9日（木）身体計測（1、3年）
 10日（金）身体計測（2年）写真撮影
 17日（金）学校運営協議会
 18日（土）学校公開、保護者会
 20日（月）振替休業日
 27日（月）生徒会朝礼

【学校運営協議会（第5回 2/12）】

1 協議
 （1）学校公開（保護者アンケートより）
 ・保護者の参観の様子について
 ・「書き初め」の掲示について
 （2）私費教材費の徴収について
 ・同意書の文面、入金の流れについて
 ※傍聴可能です。学校にご連絡ください。